

「家族の絆写真展、チャリティー撮影会」に関する概要

埼玉県写真館協会「家族の絆展&チャリティー撮影会」趣意書

私たち写真館では、毎年多くの家族写真を撮影しています。日々の撮影の仕事の中にたくさんの家族の愛を感じ、私たち自身も家族の笑顔からたくさんの幸せと勇気をいただいています。

また、その一方で、様々な事情により家族写真が撮れない子供たちが存在しています。両親と死別、幼児虐待等、家族愛に恵まれない子供たちはどんなにか寂しいことでしょうか。どうにかして、そんな子供達の力になれないだろうか？家族写真のプロとして何かできる事はないだろうか？そんな思いから、ここ数年、「家族の絆写真展」を開催しております。さらに、一昨年は、「チャリティー家族撮影会」を企画実行し、募金活動をさせていただきました。

そして、今年は 3 月 11 日、私たち日本人にとっては未曾有の大震災に遭遇。未だ復興の目処がたたない地域や人々が多く、心を痛める日々が続いております。そんな中、流される様々な報道や情報の中で、思い出の詰まった「写真」を探し出す話や、地域の方たちとともに、ボランティアとして写真洗浄をしている仲間たちの活動を目のあたりにしております。

私たち写真館が、プロの技術を提供し、家族写真をお撮りして、地域のみなさんに幸せを感じていただく。そして、みなさんにはほんの少しだけ「幸せのおすそわけ」をお願いできたらこんなにうれしい事はありません。

「絆」という言葉を、震災以来あちらこちらで見かけます。今年を象徴する恒例の「一文字」にも選ばれました。その「絆」の中でも、家族の絆を撮影し、写真とメッセージをご覧いただく事や、「チャリティー撮影会」を敢行し、「家族の絆」を再確認していただく場を設ける事で、少しでも今の社会に元気と活力を提供出来たらと考えます。

被災された方たちに直接的な働きかけが出来るかどうかは、まだわかりませんが、何とか、より多くの方に、撮影の体験と出来上がった写真で「絆」を感じていただけたらと思っています。

さらに、今回は、ご高齢の方にも、元気なうちに元気な姿を撮り留めておいていただきたい！昨今の「終活ブーム」の一環である「シニアポートレート」を撮影させていただければと思います。

私達は、写真には「人々を幸せにする力がある」と信じています。

尚、募金は全て、一昨年同様「こどもの心のケアハウス 嵐山学園」へ寄付させていただこうと考えております。

未だ震災や、台風、大雨の被害で、大変な思いをされている方がまだまだたくさんいらっしゃることはよくよく承知しております。ただ、この写真展を開始した時からのポリシーである「社会的弱者であるこども達を支援しよう」との思いは、こんな時だからこそ忘れてしまわず、実行しようと私どもは話を致しました。

どうぞ、ご賛同いただける皆様の応援、ご協力を切にお願い申し上げます。

写真展&撮影会これまでの流れ

H.18年 8月 埼玉県営業写真家協会・埼玉 PGC 共催

家族の絆写真展 於 そごう大宮店 5F 後援 埼玉県青少年育成県民会議

H.19年 8月 埼玉県営業写真家協会・埼玉 PGC 共催

家族の絆写真展 於 そごう大宮店 5F 後援 埼玉県青少年育成県民会議

H.19年 9月 埼玉県営業写真家協会・埼玉 PGC 共催

家族の絆写真展 於 熊谷八木橋 後援 埼玉県青少年育成県民会議

H.21年 8月 埼玉県写真館協会・埼玉 PGC 共催

家族の絆写真展 於 川越鏡山酒蔵跡大正蔵 後援 埼玉県青少年育成県民会議

H.23年 1月 埼玉県写真館協会・埼玉 PGC 共催

家族の絆写真展 於 大宮西口 DOM ショッピングセンター 後援 埼玉県青少年育成県民会議